

## 令和元年度国民参加による気候変動情報収集・分析業務 県民対象アンケートの結果

気候変動に伴う暮らしや身の回りの変化に関する幅広い情報を把握するため、消費者・生活者としての県民向けに、環境イベント等でアンケート調査を実施するとともに、県のウェブサイトを活用し、全県民を対象とした情報収集を実施した。

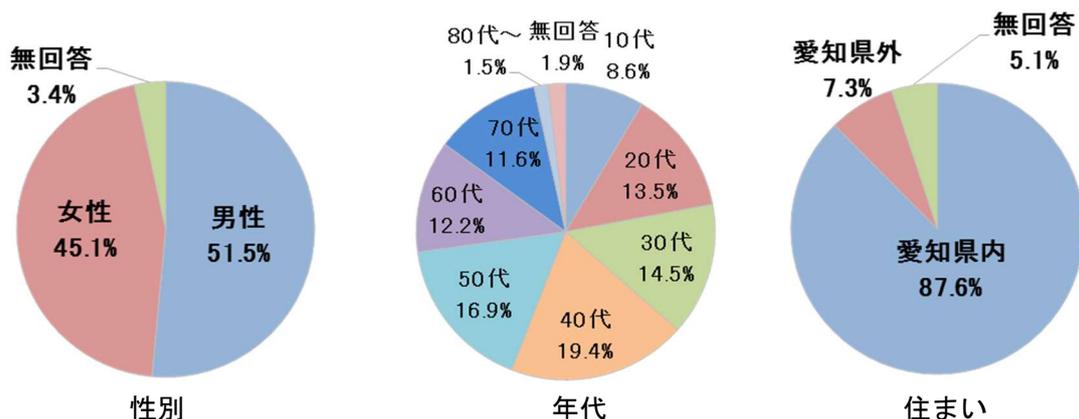
収集する情報の分野は、「健康」、「国民生活・都市生活」、「自然生態系」に関するものとした。  
設問文等、アンケート内容は P. 9～12 のとおり。

### アンケート調査の概要

アンケート方式	実施概要
①対面式・配付式アンケート	・実施期間：令和元年 10 月 11 日～11 月 24 日 ・実施場所：県が実施する環境イベント他 ・回答数：1,031
②Web アンケート	・実施期間：令和元年 10 月 29 日～11 月 25 日 ・実施場所：web 上 ・回答数：325
合計 (①+②)	・合計回答数：1,356

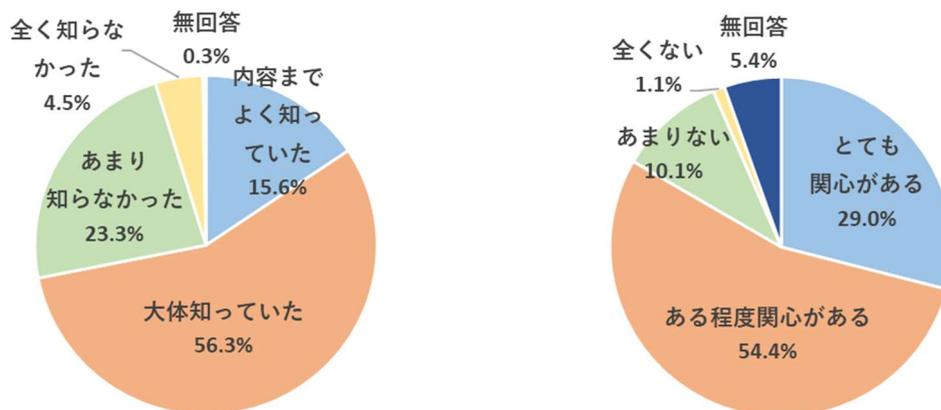
## 1 アンケート回答者の性別、年代、住まい

- ・性別は、男性 698 名 (51.5%)、女性 612 名 (45.1%)、無回答 46 名 (3.4%) であった。
- ・年代は、10 代 116 名 (8.6%)、20 代 183 名 (13.5%)、30 代 196 名 (14.5%)、40 代 263 名 (19.4%)、50 代 229 名 (16.9%)、60 代 166 名 (12.2%)、70 代 157 名 (11.6%)、80 代以上 20 名 (1.5%)、無回答 26 名 (1.9%) であった。
- ・住まいは、愛知県内 1,188 名 (87.6%)、愛知県外 99 名 (7.3%)、無回答 69 名 (5.1%) であった。



## 2 「気候変動」という言葉に対する認知度と関心

- ・「内容までよく知っていた」、「大体知っていた」と回答した人は 975 名 (71.9%)、「あまり知らなかった」、「全く知らなかった」と回答した人は 377 名 (27.8%) で、「気候変動」に対して約 7 割の人に認知されていることが分かった。
- ・「とても関心がある」、「ある程度関心がある」と回答した人は 1,131 名 (83.4%)、「あまりない」、「全くない」と回答した人は 152 名 (11.2%) で、「気候変動」に対して 8 割以上の人が関心を持っていることが分かった。

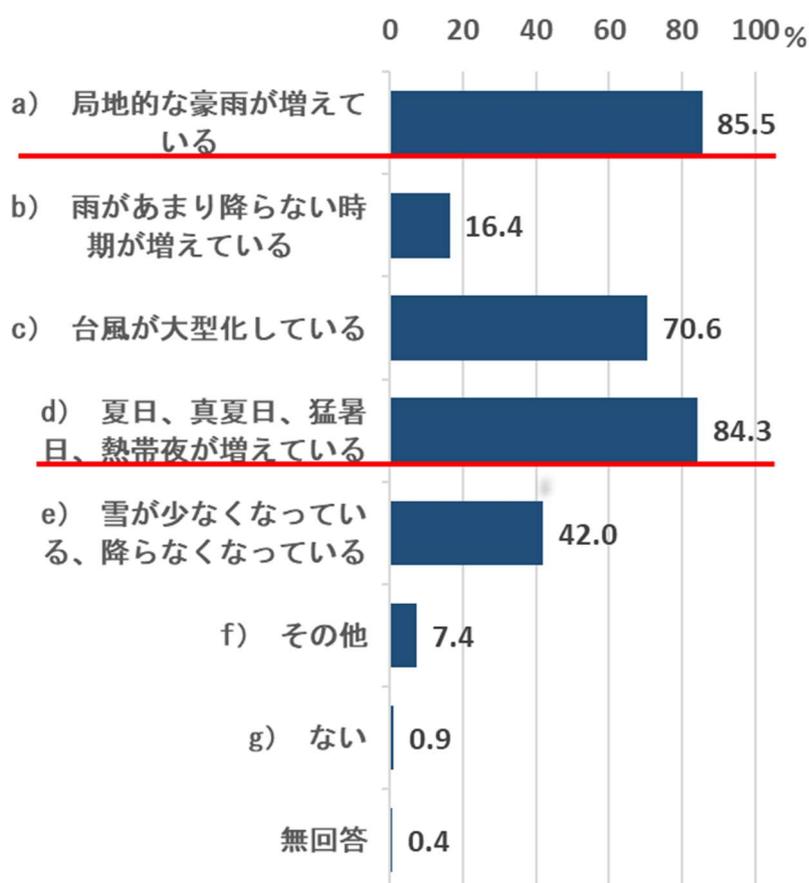


(1) 「気候変動」という言葉

(2) 「気候変動」への関心

### 3 子どもの頃と比べて日頃感じている「気候変動」の内容（複数回答可）

- ・「局地的な豪雨が増えている」と回答した人が1,160名（85.5%）、「夏日、真夏日、猛暑日、熱帯夜が増えている」と回答した人が1,143名（84.3%）と多く、次いで「台風が大型化している」と回答した人が958名（70.6%）となっている。
- ・「その他」として、「海水温や海水面の上昇」、「海流の変化」、「秋が短くなっている」、「雪の降り方も極端になっているのではないか」、「台風は年ごとの隔たりもあり、大型化しているのかは分からない」などの意見があった。



日頃感じている気候変動の内容

#### 4 日頃感じている「気候変動」の影響（複数回答可）

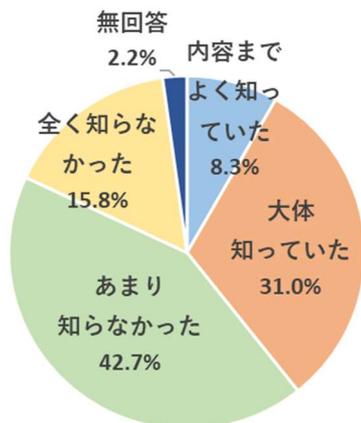
- ・「水害・土砂災害が増えた」と回答した人が1,005名（74.1%）、「熱中症を心配するようになった」と回答した人が918名（67.7%）と多くなっている。
- ・次いで、「農作物・漁獲物に被害が生じるようになった」と回答した人が686名（50.6%）、「半袖を着る時期が長くなるなど、衣替えの時期が変わった」と回答した人が631名（46.5%）、「冷房を使い始める時期が早くなった」と回答した人が591名（43.6%）となっている。
- ・「その他」として、「熱帯の動植物を見かけるようになった」、「夏場、冷房をつけっ放しにするようになった」、「運動会の開催時期が変わった」、「冷房をつけない自分が命に関係することをつけるようになった」などの意見があった。



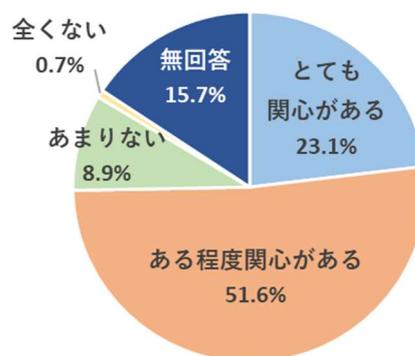
日頃感じている気候変動の影響

## 5 「気候変動への適応」という言葉に対する認知度と関心

- ・「内容までよく知っていた」、「大体知っていた」と回答した人は 533 名 (39.3%)、「あまり知らなかった」、「全く知らなかった」と回答した人は 793 名 (58.5%) で、「気候変動」に対して約 4 割の人に認知されていることが分かった。
- ・「とても関心がある」、「ある程度関心がある」と回答した人は 1,013 名 (74.7%)、「あまりない」「全くない」と回答した人は 130 名 (9.6%) で、「気候変動」に対して 8 割弱の人が関心を持っていることが分かった。



「気候変動への適応」という言葉



「気候変動への適応」への関心

## 6 「気候変動への適応」に「とても関心がある」「ある程度関心がある」と回答した人の関心分野（複数回答可）

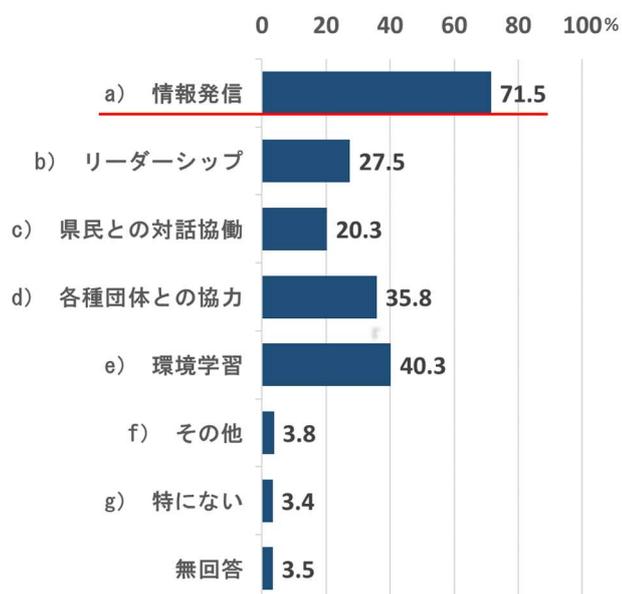
- ・「自然災害・沿岸域」と回答した人が 661 名 (48.7%) と最も多く、次いで「自然生態系」が 561 名 (41.4%)、「農業、森林・林業、水産業」が 478 名 (35.3%)、「健康」が 474 名 (35.0%) の順であった。



関心のある分野

## 7 気候変動影響に関して、愛知県に期待すること（複数回答可）

- ・「情報発信」と回答した人が 970 名（71.5%）で一番多い。
- ・次いで「環境学習」と回答した人が 547 名（40.3%）、「各種団体との協力」と回答した人が 485 名（35.8%）であった。
- ・「その他」として、「県内における対策の主体となる」、「多方面から意見を聞き、話し合った上でビジョンの作成、ビジョンに基づいた条例の策定、施行」、「具体的な政策を各自治体と協力して国政更には国際社会への呼びかけ連帯を強める」などの意見があった。



愛知県に期待すること

## 8 自由意見

自由意見は、気候変動適応計画（平成 30 年 11 月、閣議決定）の 7 分類に「気候・気象」を加えた枠組みで整理した。

分野	キーワード	主な変化・影響
1. 気候 ・気象	台風	<ul style="list-style-type: none"> <li>・台風の進むコースが変わった。</li> <li>・台風の発生場所が日本に近い場所で起こり始めている。</li> </ul>
	夏の暑さ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名古屋市に住んでいるが 2018 年は初めて 40℃を超える日ができた。</li> <li>・昔に比べて暑い。</li> </ul>
	気温	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間を通して気温が高くなっている。気温の変化が激しくなった。</li> </ul>
	季節	<ul style="list-style-type: none"> <li>・花、木などの植物、虫などの昆虫の季節感がなくなっている。四季が崩れている。</li> <li>・春・秋が短くなった（夏からいきなり冬になる）。</li> </ul>
	雨の降り方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・梅雨時に、以前はしとしと雨が続き末期に強い雨が続き続いたが、今は晴れの日が続いたり、激しいスコールのような雨が降ったりする。</li> </ul>
	雪	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドカ雪が増えた。高山帯での初冬の積雪開始時期が遅くなっている。</li> </ul>
2. 農業・林業 ・水産業	農作物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農作物の影響。</li> </ul>
	漁獲物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・魚が獲れなくなっている。</li> </ul>
3. 水環境・水資源	海	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ニュースなどで聞くのが海水面の上昇。</li> </ul>
	水	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過去は芝生だった公園の水はけが悪くなり湿地のようになっている。</li> </ul>
	氷	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南極の氷が急激に溶けている。永久凍土が溶け始めている。</li> </ul>
4. 自然生態系	生態系	<ul style="list-style-type: none"> <li>・花木、動物などの生態系が変化。気温が高い地域に住んでいた生物が、日本に住むようになり、野菜や植物の成長を脅かしている。</li> <li>・気候変動によって生き物の住みかかわってきている。</li> </ul>
	動物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・魚の分布の変化。サンゴ礁の死。</li> <li>・蚊が 7、8 月の猛暑日は外でみかけず、10 月、11 月でも飛んでいる。アブラゼミやニイニイゼミが減りクマゼミ（子供のころは少なくて貴重）ばかりになった。</li> </ul>
	植物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・桜の開花が早く、紅葉の時期が遅い。</li> <li>・江南でも柑橘類が良く実るようになった。</li> </ul>
5. 自然災害 ・沿岸域	水害	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雨が集中的に降って川の氾濫、決壊、土砂崩れが増えて災害が増えた。</li> </ul>
	火災	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然発火。森林火災が増加。</li> </ul>
6. 健康	熱中症	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昔よりテレビで、熱中症で人が死ぬ又は倒れて病院に搬送されたというニュースをよく見るようになった。</li> </ul>
7. 産業 ・経済活動	—	—
8. 国民生活 ・都市生活	衣	<ul style="list-style-type: none"> <li>・真冬用のコートを着る機会が少ない。</li> <li>・衣替え 6 月 1 日→5 月 1 日に、10 月 1 日→10 月中旬に移っている。</li> </ul>

8. 国民生活 ・都市生活	食	<ul style="list-style-type: none"> <li>・果物の旬が変わった。</li> <li>・ウナギの値段が高くなった。</li> </ul>
	住	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏は冷房を使わないと暮らせない。冷房をつけっ放しにするようになった。</li> <li>・冷房をつけない自分が命に関係することにつけるようになった。</li> </ul>
	四季	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節イベント(桜の開花、梅雨、紅葉など)の時期が子供のときと違ってきている。</li> </ul>
	学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの運動会などのイベントが半日になり時期が変わった。</li> <li>・学校にもエアコンがある。</li> </ul>
	交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通機関の運休やダイヤの乱れが増えた。</li> </ul>
	メディア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節はずれの〇〇〇、例年と違う〇〇〇という言葉が目につく。</li> <li>・海外メディアの環境問題の取り上げ方が変わった。</li> </ul>

## 愛知県 気候変動影響に係るアンケート調査

以下のご質問について、あてはまる箇所に○印をおつけください。

### 1. 気候変動に対するご関心

- (1) 「気候変動」という言葉をどのくらい知っていましたか？
- a) 内容までよく知っていた
  - b) 大体知っていた
  - c) あまり知らなかった
  - d) 全く知らなかった
- (2) (1) で a)、b)、c) とお答えいただいた方は、「気候変動」について、どのくらいご関心がありますか？
- a) とても関心がある
  - b) ある程度関心がある
  - c) あまりない
  - d) 全くない

### 2. 気候変動による変化・影響

- (1) あなたが子供の頃と比べ、日頃感じている「気候変動」の内容として、知っていることを a)～f)の中からお選びください。(複数回答可)
- a) 局地的な豪雨が増えている
  - b) 雨があまり降らない時期が増えている
  - c) 台風が大型化している
  - d) 夏日、真夏日、猛暑日、熱帯夜が増えている
  - e) 雪が少なくなっている、降らなくなっている
  - f) その他 ( )
  - g) ない
- (2) (1) で g) 以外をお答えいただいた方は、日頃感じている「気候変動」の影響を a)～p)の中からお選びください。(複数回答可)
- a) 水害・土砂災害が増えた
  - b) 水不足が心配されるようになった
  - c) 農作物・漁獲物に被害が生じるようになった
  - d) 半袖を着る時期が長くなるなど、衣替えの時期が変わった
  - e) 春物・秋物の衣服を着る機会が減った
  - f) 野菜や魚の値段が高くなった
  - g) 野菜や魚の旬の時期が変わってきた
  - h) 冷房を使い始める時期が早くなった
  - i) 冷房を使い終わる時期が遅くなった
  - j) 熱中症を心配するようになった
  - k) 夏の電気使用量が増えた
  - l) 公共交通機関の運休やダイヤの乱れが増えた
  - m) 開花、紅葉、落葉などの植物の生育サイクルの変化がみられるようになった
  - n) 見たことのない動植物を見かけるようになった
  - o) その他 ( )
  - p) ない

(裏面へ続きます)



## 分野・項目の分類体系

分野	大項目	小項目
農業・林業・水産業	農業	水稻
		野菜
		果樹
		麦、大豆、飼料作物等
		畜産
		病虫害・雑草
		農業生産基盤
	林業	木材生産（人工林等）
		特用林産物（きのこ類等）
	水産業	回遊性魚介類（魚類等の生態）
増養殖等		
水環境・水資源	水環境	湖沼・ダム湖
		河川
		沿岸域及び閉鎖性海域
	水資源	水供給（地表水）
		水供給（地下水）
		水需要
自然生態系	陸域生態系	高山帯・亜高山帯
		自然林・二次林
		里地・里山生態系
		人工林
		野生鳥獣による影響
		物質収支
	淡水生態系	湖沼
		河川
		湿原
	沿岸生態系	亜熱帯
		温帯・亜寒帯
	海洋生態系	
	生物季節	
	分布・個体群の変動	
自然災害・沿岸域	河川	洪水
		内水

	沿岸	海面上昇
		高潮・高波
		海岸浸食
	山地	土石流・地すべり等
	その他	強風等
健康	冬季の温暖化	冬季死亡率
	暑熱	死亡リスク
		熱中症
	感染症	水系・食品媒介性感染症
		節足動物媒介感染症
その他の感染症		
その他		
産業・経済活動	製造業	
	エネルギー	エネルギー需給
	商業	
	金融・保険	
	観光業	レジャー
	建設業	
	医療	
	その他	その他（海外影響等）
国民生活・都市生活	都市インフラ、ライフライン等	水道、交通等
	文化・歴史などを感じる暮らし	生物季節、伝統行事・地場産業等
	その他	暑熱による生活への影響等

出典：「気候変動適応計画」添付資料（平成 30 年 11 月、閣議決定）